ＣＬＴ利用例

Ｎｏ．141

写真提供：上田 宏

名称	心の教育センター		
竣工	2020年6月	階数	地上２階
面積	（建築）485.81m^2　（延床）805.52m^2		
CLT利用部分	壁	使用したCLT	99.28m^3
CLTサイズ	（最大）210 x 1490 x 8247mm		
構造	ＣＬＴパネル工法	設計ルート	壁勝仕様
用途	児童福祉施設	防耐火要件	準耐火建築物
所在地	高知県高知市大原町１２０－１		
設計	上田・細木設計共同企業体		
施工	新進建設		
特長	この建物は、3棟に分かれ、東棟、西棟はＣＬＴパネル工法、中棟は軸組工法で計画しています。ただし東棟、西棟は、伝統工法である長押工法とＣＬＴパネル工法を融合させた「ＣＬＴ投押工法」としました。この工法はＣＬＴを１、2階通しとして、その両側から長押のように2本の梁で挟んでおり、ＣＬＴを30mmかきこんでそこに梁をくいこませる、めりこみで抵抗させています。		

一般社団法人 日本CLT協会

ＣＬＴ利用例

Ｎｏ．142

写真提供：飛島・四国開発ＪＶ

名称	香南市庁舎		
竣工	2020年2月	階数	地上7階
面積	（建築）1,262.91m^2　（延床）7,811.27m^2		
CLT利用部分	壁（耐震壁）	使用したCLT	81.0m^3
CLTサイズ	（最大）幅1,800 x高さ2,600 x 厚さ210 mm		
構造	鉄骨造・鉄骨鉄筋コンクリート造	設計ルート	－
用途	庁舎	防耐火要件	耐火建築物
所在地	高知県香南市野市町西野２７０６		
設計	山下・みやび設計共同体		
施工	飛島・四国開発ＪＶ		
特長	本建物は、極稀な災害時にも防災拠点としての機能維持を目的とした地上7階建ての庁舎です。1階と2階は窓口等の市民のスペース、3階は市長室や災害時に災害対策本部となる大会議室、4階から6階は執務室、7階を議会エリアで構成しています。一般的な接合金物は柱・梁施工後の取り付けが難しいため、本建物では、Ｌ型金物をCLT耐震パネル四隅に取り付け上下梁に接合させる方法を採用しています。これによりめり込み耐力を持たせ靭性を確保しています。		

一般社団法人 日本CLT協会

CLT利用例

No. 143

写真撮影：上田宏

名称	真庭市立中央図書館		
竣工	2018年3月	階数	地上3階
面積	（建築）1942.39m^2　（延床）3872.97m^2		
CLT利用部分	内部壁、外部庇、バイオマス棟	使用したCLT	49.93m^3
CLTサイズ	（最大）2300 x 6100 x 150 mm（バイオマス棟屋根）		
構造	RC造（本館）CLT造（バイオマス棟）	設計ルート	ルート1（バイオマス棟）
用途	図書館	防耐火要件	耐火建築物（本館）その他（バイオマス棟）
所在地	岡山県真庭市勝山53-1		
設計	青木茂建築工房（建築）、金箱構造設計事務所（構造）、森村設計（設備）		
施工	三木工務店・三和建設JV		
特長	築37年のRC造庁舎を市産材を活用したCLTや木ルーバーなどに包まれた木の香りのする図書館へ再生した。本館の間仕切り壁（非耐力壁）には曲面CLTを採用し、柔らかな図書空間をつくっている。外部のバイオマス棟はCLT造を採用している。		

一般社団法人 日本CLT協会

CLT利用例

Ｎｏ．144

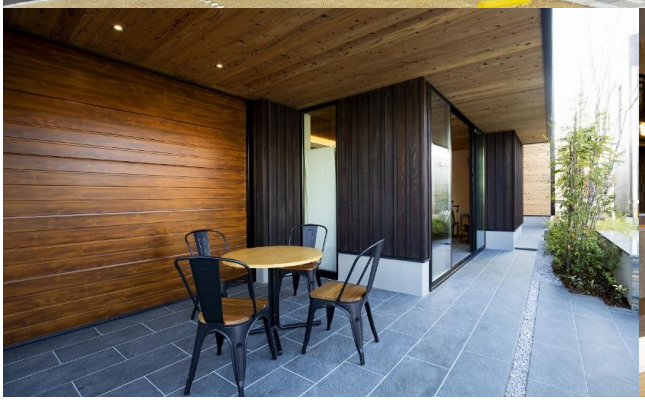
写真提供：リップルネット㈱

名称	meet tree nakatsugawa		
竣工	2021年1月	階数	地上1階
面積	（建築）98.41㎡　（延床）98.41㎡		
CLT利用部分	屋根	使用したCLT	22.11㎥
CLTサイズ	厚さ150mm、1,200～2,200x2,800～5,600　(最大)2,200x5,600		
構造	屋根部にCLTを使用した木造軸組ハイブリッド工法	設計ルート	ルート1
用途	店舗兼飲食店	防耐火要件	準耐火建築物
所在地	岐阜県中津川市新町1947-1		
設計	（意匠）㈱成瀬・猪熊建築設計事務所　（構造）㈱木構堂		
施工	丸山木材工業㈱		
特長	中津川市産ヒノキCLTを屋根現しにて使用。 内部木材現しにより木質感を感じられる建物。 構造材の現し部分は防火地域内の準耐火建築のため燃えしろ設計を行った。 店内一部の家具にもヒノキCLTを採用。		

一般社団法人 日本CLT協会

CLT利用例

No. 145



写真提供：近藤建設(株)

名称	LIFE FIT STUDIO URAWA		
竣工	2021年1月	階数	地上3階
面積	（建築）114.83m^2　（延床）269.1m^2		
CLT利用部分	壁、床、屋根	使用したCLT	68.15m^3
CLTサイズ	（最大）150 x 1820 × 5000 mm		
構造	LC-core構法	設計ルート	ルート2
用途	住宅展示場	防耐火要件	準耐火建築物
所在地	埼玉県ふじみ野市上福岡1-14-7		
設計	近藤建設(株)		
施工	近藤建設(株)		
特長	埼玉県でも指折りの高級住宅街「浦和」での展開を考慮し、大空間大開口を実現出来るCLT LC-core構法で計画。優れた構造特性により、２方向開口やオーバーハング ３間の大開口を実現することが出来ました。又、内外装いたるところに意匠材とCLTを採用し、デザインを高めています。		

一般社団法人 日本CLT協会

CLT利用例

No. 146

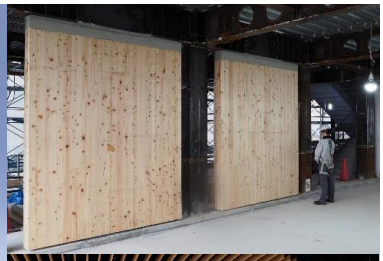
写真提供：KEN五島

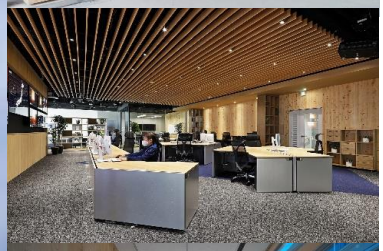
名称	㈱イトイグループホールディングス CLT新社屋		
竣工	2020年2月	階数	地上2階
面積	（建築）450.63m^2　（延床）464.8m^2		
CLT利用部分	壁、床スラブ、屋根スラブ	使用したCLT	244.395m^3
CLTサイズ	（最大）2340 x 9090x 150 mm		
構造	CLT造	設計ルート	ルート2
用途	事務所	防耐火要件	無し
所在地	北海道士別市朝日町中央4025番地		
設計	㈱ 遠藤建築アトリエ		
施工	㈱ イトイ産業		
特長	北海道士別市にある、土木・住宅・福祉などの様々な事業で地域を牽引する企業の社屋である。技術・工法・地域資源を発信することを「地域貢献」と捉え、北海道産CLTを用いた「地方創成企業の顔」となる建築を目指した。CLTを壁・スラブに使用し、「アイコンとなるV字型のCLT壁」、「CLT重ね版による柱の無い執務空間」を計画した。また、「バイオマスボイラーの利用」や、「室内環境の継続的な測定」など、環境にも配慮した計画としている。		

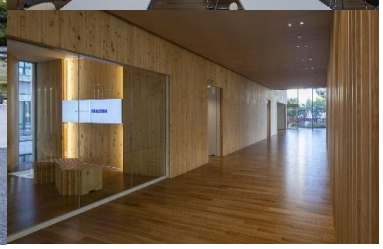
一般社団法人 日本CLT協会

CLT利用例

No. 147







写真提供：㈱ 竹中工務店

名称	タクマビル新館（研修センター）		
竣工	2020年10月	階数	地上6階
面積	（建築）707.89m^2　（延床）3,334.35m^2		
CLT利用部分	壁	使用したCLT	202.3m^3
CLTサイズ	（最大）4,535 x 2,300 x 168(2枚) mm		
構造	S造＋木造	設計ルート	大臣認定
用途	事務所	防耐火要件	耐火建築物
所在地	兵庫県尼崎市金楽寺町２丁目２-33		
設計	㈱ 竹中工務店		
施工	㈱ 竹中工務店		
特長	鉄骨造に耐震CLTパネルと耐火集成材柱を組み合わせ免震構造を採用した木造ハイブリッド免震建築。1階から6階まで続くコアの鉄骨フレームにCLTを耐震要素として設置した。さらにコアを取り囲むように厚み90mmのCLTを設置し、壁一面にCLTがあらわれる執務スペースを創出した。		

一般社団法人 日本CLT協会

CLT利用例

Ｎｏ．148

写真提供：FOTOTECA ・jun shimada

名称	FLATS WOODS 木場		
竣工	2020年2月	階数	地上12階
面積	（建築）914.03m^2　（延床）9150.73m^2		
CLT利用部分	1F～4F壁、12階床・壁、屋根ブレース	使用したCLT	55.40m^3
CLTサイズ	（最大）270 x2,004 x 6,560 mm		
構造	RC造+S造+W造（免震構造）	設計ルート	大臣認定（免震建物）
用途	共同住宅	防耐火要件	耐火建築物
所在地	東京都江東区東陽3丁目25番12号		
設計	㈱ 竹中工務店		
施工	㈱ 竹中工務店		
特長	初採用の木造技術を多く採用した国内最高層の木造ハイブリッド建築で、用途は単身者向け社宅。自社開発の「2時間耐火の燃エンウッド®」等、都市部で木造・木質化建築を実現する多くの次世代木造技術を採用している。CLTは、1～4階の木質耐震補強技術「T-FoRest®」、１２階共用キッチン壁CLTブロック耐震壁技術、12階食堂の床、屋根の面内剛性を確保するための水平ブレース、の４か所に使用している。最大CLT厚は,床に使用した9層9プライの270mmで、約6mのスパンのCLT床となっている。		

一般社団法人 日本CLT協会

CLT利用例

No. 149

写真撮影：鈴木研一

名称	津山信用金庫勝山支店新築計画		
竣工	2021年3月	階数	地上1階
面積	（建築）112.23m^2　（延床）108.27m^2		
CLT利用部分	壁、屋根	使用したCLT	43.1m^3
CLTサイズ	（最大）120 x 3000x 10487 mm		
構造	木造 (CLT造＋集成材)	設計ルート	ルート2
用途	事務所 (銀行の支店)	防耐火要件	法22条区域 / その他
所在地	岡山県真庭市勝山819-3		
設計	三和建設㈱、㈱ofa		
施工	三和建設㈱		
特長	建物はL型の平面をCLTの壁と屋根で構成し、部分的に在来木造を取り入れて、適材適所の木造建築としました。CLTは壁・屋根ともに一部折板とすることで大スパンに対応し、フレキシブルなプランとしています。大きなCLTの壁で執務スペースの「守る」とロビーの「創る」を分けながらつないでいます。		

一般社団法人 日本CLT協会